



やまぶき会 吉野 郁恵

12

空き家の実態調査を早急に

問 管理不全な空き家の実態調査を早急に必要と考えるが、今後の川越市空き家等の適正管理に関する条例の運用についての市の考えを伺う。

答 市民部長 管理不全な空き家の実態調査については、自治連の総会等で口頭でのお願いをしているが、調査項目等を精査し、今後検討したい。

既存の法律や各種条例より措置できる事項が広がり、市として対策を行うという姿勢が明確になった。今後は、未解決事案を1件でも多く減らし、解決率向上に向けて全庁一丸となり、本条例の目的である生活環境の保全及び防犯のまちづくりの推進に寄与できるように鋭意努力していきたい。

【問】管理不全な空き家



民主党 山根 史子

13

地域防災計画に竜巻の記載

問 地域防災計画に竜巻に特化した記述をし市民へ注意を呼びかけると共に越谷市の状況を検証し対策等を反映させることについてご見解を伺う。

答 総務部長 竜巻による被害は台風や大雨、落雷等と比べ発生頻度が低いことから、これまでまとめて記載していた。越谷市の竜巻災害から竜巻災害の特性を考慮し

た固有の対策の検討が必要と認識している。本市では災害発生後、職員を派遣し情報収集を行っているが、今後改めて状況調査を行い、その調査結果や竜巻災害のあった県や市の修正内容、他市の状況等を踏まえ地域防災計画の見直しを前向きに検討していきたい。

【問】部活動と市教委の姿勢
【問】竜巻に対する市の備え



専断云 牛窪 多喜男

14

介護保険制度の見直し

問 介護保険制度については、地域包括ケアシステムの構築が最大の課題であると思われるが、市はどのように考えているか。

答 福祉部長 本市では、平成37年には市民の約3人にひとりが高齢者になると見込まれている。今後、在宅での医療・介護を必要とする人はさらに増加すると見込まれる中、個々の高齢者の状況に応

じ入院、退院、在宅生活を通じて切れ目のないサービスが受けられるようにするためには特に医療と介護の連携が重要である。このため地域ごとの住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築が大変重要であると認識している。

【問】全国健康福祉祭
【問】介護保険制度の見直し



公明党 近藤 芳宏

15

フランス農業振興策に学ぶ

問 本市は12地区で「人・農地プラン」を作成することになるが、地域内分権との関係性を踏まえ、どのように地域づくりを進めるのか。

答 市長 地域内分権も人・農地プランも地域の課題を地域の住民が主体となって解決を図るという点では、共通する部分がある。また、本市には人・農地プランにおける課

題である農業の後継者不足や遊休農地の増加等が課題となっている地域もある。こうした農業分野の課題も含めた地域の課題を住民が主体となって解決できるよう、今後、関係する皆様と十分に協議を重ねながら、地域づくりのしくみを作りたいと考えている。

【問】都市農業のまちづくり
【問】バスケゴールの電動化



やまぶき会 高梨 淑子

16

使用料見直しの考え方

問 公民館使用料見直し団体の公民館登録グループは、学習成果を地域活動に充分還元していると考えるが、どのように評価しているのか。

答 教育総務部長 登録グループの活動内容は、地域の教育や文化の振興に務め、地域づくりにも貢献され、大いに評価するところであるが、社会構造の変化によって、登録

グループの構成員も変化しており、事業内容も構成員の技量を高める活動などに特化されるなどの傾向がみられる。また、市民から要望の多い登録グループの活動内容をテーマにした講座を公民館と共催で開催しており、公民館の目的を達成するための重要な事業となっている。

【問】受益者負担



専断云 高橋 剛

17

教室にエアコン設置を

問 夏の教室は大変高温となっている。市内小中学校の普通教室にエアコンを導入することについて計画化していくべきではないか。

答 市長 川越市の未来を担う大切な子供たちを預かりしている以上、1日の大半を過ごす学校施設を安全かつ快適な学習環境を確保する必要があると学校設置者として考

えている。学校施設は、平成24年度で耐震化が終了し、今後は引き続き、大規模改造工事を積極的に進めていく。エアコンの導入については、その必要性を十分に認識しているが、厳しい財政状況の中、本市の施策の優先順位や財政状況を見極めながら判断していく。

【問】市内の歩道の諸課題
【問】暑さ対策



無所属 川口 啓介 クレジット収納の導入

18

問 クレジット収納導入について、他市の動向を見るだけでなく、本格的に検討作業に入った上で、総合的にコスト等を精算し、判断すべき。

答 政策財政部長 クレジット収納により、納税者の利便性が向上し、納期限内納付が促進されることは、一定の効果があると考えているが、納付額の1%の手数料がかかるという問題もある。今後は、他市の手数料負担割合と利用状況との関係性及び他の納付方法との均衡等を考慮するとともに、納期限内納付の促進による督促状等の発送に係る事務量の削減等、総合的なコストを精算したうえで、導入の可否を検討していきたいと考えている。

問 クレジット収納
問 環境推進員制度



民主党 山本 綾子 校名変更から10年の成果！

19

問 市立高等学校が、校名を変更し、学科を編成しておよそ10年が経った。その成果について伺う。

は30・6%と大幅に向上している。

答 学校教育部長 平成14年度に大学などへの進学を考える生徒に比べ、普通科の導入により、大学・短大等に進学を希望する生徒が増加し、学校全体の進学率が向上した。

また、将来に対する目標を持ち、その実現に向けて、切磋琢磨する生徒が増えている。

問 10年の成果
問 防災訓練



やまぶき会 倉嶋 美恵子 食育と学校給食

20

問 平成17年度の包括外部監査で学校給食の副菜について指摘された内容は、現在どのように改善見直しが行われたのか。

答 学校教育部長 包括外部監査から、副菜の代わりとして、業者直送品のゼリーなどのデザートを組み合わせた献立が多いので、業者直送品を減らして、副菜を組み合わせることで献立を増やすようにとの指摘があった。指摘を受けた後、現業職員を含め副菜について検討を重ね、試行ではあるが、副菜を組み合わせた献立を増やしている。今後については、食欲の落ちる夏場などは、冷たいデザートで栄養を取ることにも必要かとも考えているので、残菜の状況などを踏まえ、検討していく。

問 こどもに関する課題



日本共産党 本山 修一 市長の政治姿勢

21

問 市長の後援団体懇親会が9月議会開催直前に開かれ議長が挨拶した。市から補助金を受けている団体多数を集められた。市長の認識を問う。

たと反省している。この点を除けば、今回の懇親会開催に関して問題があったとは、考えていない。

答 市長 今回の懇親会において本人の確認を得ているとはいえず、また出席議員の代表として挨拶をいただいたとはいえず、挨拶を頂戴したことに關しては、配慮が足りなかった。

問 市長の政治姿勢
問 中高層建築物の諸問題
問 鍛冶町広場と観光案内



日本共産党 今野 英子 労働者の権利を学ぶために

22

問 若者を使い捨てにするブラック企業が急増。学校教育の中で、憲法や労働法を学ぶ機会を取り入れるべきだと考えるが、市の考えを伺う。

答 産業観光部長 労働者の権利を守るためには、労働法に関する正しい知識が必要と考える。また、労働トラブルを相談できることも大切と考えている。現在、労働法の啓発



日本共産党 川口 知子 県事業活用で河川敷整備を

23

問 入間川右岸側大東地域において、遊歩道や増形緑地の拡張、池辺公園の拡張の要望がある。県の川のみること再生事業に絡め整備できないか伺う。

大きな課題となり、市単独では、整備が困難な状況である。このような条件であるが、地元からの要望もあることから、川のみること再生事業に絡めて、実施が可能かどうか、早急に埼玉県との関係機関及び庁内の関係課と協議していきたい。

答 産業観光部長 ※ 当該地域においては、河川敷内は民有地がほとんどを占めており、測量や買収等に時間と費用がかかるものと推測される。完成後の維持管理についても

問 教育の一環の学校給食
問 震災に強いまちづくり
問 入間川河川敷の利活用